

12月

の主な行事予定

日	曜	行 事
1	水	全校朝礼 集金日(～2日)
6	月	委員会活動 きずなの日
7	火	中央委員会 楽器体験 1.2年
8	水	楽器体験 3.4年
9	木	楽器体験 5.6年 6年ものづくり体験教室
10	金	しめ縄作り(5年生)
16	木	SC 村松先生相談日(午前)
17	金	大掃除(ワックスがけ)
20	月	きずなの日
23	木	給食終了
24	金	二学期終業式 集団下校
27	月	冬季休業(～1/12)

3学期始業式...1月13日(木)

明日からは師走を迎えます。二学期も残り一ヶ月を切りました。大きな行事が終わり、学習のまとめの時期に入っています。また、個別懇談も先週から本日まで行われています。子どもたちのこれまでの成果(成長)と課題(のびしろ)等を話し合うための大事な機会とし、とても有意義な時間となっています。

新型コロナウイルス感染症もこのところ落ち着いてきています。しかし、海外では、WHOが「懸念される変異株」に指定した新しい変異株(オミクロン株)の広がりが始まっています。油断せずに、基本的な感染防止対策を続け、充実した学校生活を送っていききたいと思っています。

なななとと

令和二年も残りわずかか



コロナ禍の選挙活動！ 令和4年度児童会役員決まる！ 3年生以上が投票！

- 児童会会長 織田唯花 さん
- 6年副会長 志村瑞季 さん
- 5年副会長 石原直歩 さん

令和4年度の児童会のリーダーとなる会長、副会長を選挙児童会の選挙が10月19日の告示1号を受けて、始まりました。今年は会長に1人・6年副会長に1人・5年副会長に2人が立候補しました。(各定員1)

今年の選挙活動もコロナ禍のため、従来の教室訪問はせず、指定された休み時間にZOOMによる演説の視聴と

体育館でのミニ演説会となりました。11月22日の立会演説会では、すべての候補者と責任者が、緊張しながらも堂々と、考えや思いを伝えることができました。

選挙管理委員も、伊奈葉月委員長を中心に、たくさんの準備や演説会の運営、開票作業など、立派にやり遂げました。

開票の結果、当選者は上の通りです。新役員は、この日の気持ちを忘れずに、選んだみんなは、選んだリーダーをしっかりと支えて、来年度よりよい児童会にしていってほしいと思います。



学校教育目標

確かな学力と豊かな心と
健康な体をもった児童の育成

HP ↓



11月号

文責小口尚良

サルに注意！！

十一月二十四日、金井方面から登校してきた子どもたちが、「サルがいました」と教えてくれました。同じころ通り掛かった職員が状況を確認しました。サルは群れで、中津森の県道に沿った畑に柵を越えて入ってきたようです。その日から通学時間帯は職員が立つようにしています。柵を越えたのを確認したのはその日だけで、姿が見られない日もありました。今後もしばらくは見守りを行います。

すが、頻繁に現れる場合は資格を持った職員が花火で威嚇することもお考えいただけます。ご理解・ご協力をお願いいたします。



3年生社会科見学

11月10日、都留市消防本部・まちづくり交流センター・市立図書館へ社会科見学に行ってきました。消防署では、消防士さんのすこさを実感しました。

まちづくり交流センター・市立図書館では、普段は入れない書庫に案内してもらい、すこさたくさんの本がしまわれている様子に驚いていました。



歳末助け合い運動・飢餓救援活動

十一月八日から五日間、石けん・タオル・エコキャップ・使用済み切手・募金・救援米・陸稲の積み手・集まった品物は、地区児童会本部へ届けました。



児童会

**5年生 田んぼでの体験学習「脱穀」**

10月29日(金)5,6校時に、安田さん・国田さん・高部さん・長田さん、農務事務所の方、総勢6名のご協力をいただき、5年生が脱穀(稲こぎ)をしました。9月に頑張って刈って干した稲の束をみんなで脱穀機まで運び、機械に取り込まれていく束をみたり、干歯こぎで昔ながらの脱穀を体験したりして、機械のすごさを実感しました。また藁を細かくする粉碎機に脱穀したあとの稲の束を入れると、あっという間に刻まれたわらが飛んでいくすごさを見ることもできました。脱穀したモミを機械で玄米にするところも見ることができました。「先を見通して行動する」というめあてのとおり、子どもたちは、使い終わったシートを協力してたたんだり、稲を干すのに使った牛をばらして片付けたりと進んで手分けして動き、最後までやり遂げることができました。

地域の方々の多大なサポートの中、田植え、稲刈り、脱穀と貴重な体験学習ができました。この活動の中で、子どもたちは、見通しをもって自分たちで動く力を伸ばすことができました。今年は豊作で、モミの状態で11袋(約300kg)収穫できました。話し合った結果、自分たちで食べる他、お世話になった方やアフリカ救援米、子ども食堂(都留食堂)等に届けよう計画しています。

**土曜参観**

今年度も新型コロナウイルスのため「七里まつり」は実施できませんでしたが、土曜参観を行いました。感染防止対策のため、各家庭1名という制限の中でしたが、保護者の皆様に元気に学ぶ宝っこの様子を見ていただきました。2,3校時の授業で、そのうち1時間は道徳の授業を行いました。国語や算数の授業では、タブレットを使うところも見ただけでした。3,4年生の保護者の皆様には、運動会後に取り組んできた合唱・合奏を聴いていただきました。来年度は、「七里まつり」ができることを願っています。ご参観ありがとうございました。

**SNS アンケート**

SNS アンケートへのご協力ありがとうございました。結果につきましては、保健だよりもあわせて個別懇談でお渡ししているところです。スマホやタブレット等情報機器は便利なものですが、いじめ・自殺につながった事例をはじめ多くの危険も隣り合わせにあります。これからの社会を生きていくためには上手に安全に使っていくことが重要です。アンケートから気になる結果も見えてきています。学校でもこの結果を踏まえて情報モラル教育を進めていきますが、ご家庭でも、お子さんの情報機器の使い方、使用時間、誰とどのようにつながっているか等を確認していただければと思います。

【アンケート結果より(詳しくはお渡しした学年ごとの結果をご覧ください)】

- ・自分専用のスマホまたはタブレットを持っている児童はのべで約半数。高学年ほど多い傾向。
- ・勉強以外の1日の使用時間は1~3時間が最も多く、高学年では3時間を超える児童もかなりみられる。
- ・知らない人(大人、子ども、外国の人)とつながっている児童も少なからずみられる。
- ・「楽しい・役に立つ」と感じるのは保護者より児童の方が多く、「怖い・危険」と感じるのはその逆。